

脈絡膜悪性黒色腫で治療を行った患者さんへ

放射線医学総合研究所では、造影剤を用いた脈絡膜悪性黒色腫のCT検査において検査結果をより詳細に評価するための手法について研究を行っています。

この研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名] 脈絡膜悪性黒色腫患者を対象としたDual Energy CTを用いた重粒子線治療前後の推定造影剤濃度解析の有用性の研究（実施期間：2018年12月21日～2020年3月31日）

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所 臨床研究クラスター病院

[研究責任者] 土屋 洋貴

[研究の目的] 重粒子線治療前後における眼球脈絡膜悪性黒色腫の造影増強効果を低侵襲かつ定量的に判定するために、Dual-Energy CTによる推定造影剤濃度を測定します。

既存の手法や臨床アウトカムと比較することでこの推定方法の正確性や臨床上の意義を評価し、最終的に今後の診療に資することを目的とします。

[研究の方法・データの使用方法]

●対象となる方々

2014年4月1日より平成30年10月31日までの間に重粒子線治療を開始した脈絡膜悪性黒色腫の方のうち、重粒子線治療前後においてDual Energy CT を用いた眼球局所病変の撮像を行った方

●利用する情報及び利用方法

2020年1月31日までに得られたCT検査やMRI検査の画像データ、そのほか血液検査等の検査データ、治療の経過に関する情報（電子カルテの情報など）。この研究のために新たな質問や検査を行うことはありません。

[個人情報の取り扱い]

上記のデータはお名前や住所などの個人情報を削除した上で研究に用います。年齢や性別など医学的には重要だが個人の特定につながらない情報は研究データの一部として取り扱います。研究の成果は外部に公開する予定ですが、このときに個人の特定につながる情報は一切含まれません。（国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構個人情報保護規程に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。）

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、2020年1月31日までに下記窓口にご連絡くださいますようお願い致します。 [この期間を過ぎると個人識別できない情報\(集計後の数値など\)は取り除けなくなることがあります。](#) ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。

[問い合わせ先：窓口] 千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所

臨床研究クラスター病院 診療放射線技術室 土屋 洋貴

電話：043-206-3306（平日9:00～17:00）